

電動アシスト自転車 M5/M6

Owner's Manual

取扱説明書兼保証書

この度は、電動アシスト自転車 M5/M6 をご購入いただき、誠にありがとうございます。安全に長くお楽しみいただくために、本誌をよくお読みになり正しくご使用ください。

使用者や他者への危害や損害を未然に防止するため、特に「安全上のご注意」は必ず確認いただき、内容を厳守してください。

また、本誌は読み終わった後も大切に保管し、使用時やトラブルの際に確認できるようにしてください。

電動アシスト自転車 M5/M6 を他人へ譲渡する場合は、本誌および購入証明を併せて次の使用者に譲渡してください。

本書は電動アシスト自転車 M5/M6 共通の取扱説明書となります。一部画像や解説図は M5 の仕様となっている場合がございます。

はじめに

- ・本製品を安全にご利用いただくため、「乗車前の点検・メンテナンス」と「日常の点検・メンテナンス」は必ず実施してください。
- ・本製品の点検、メンテナンスを行うための工具はお客様ご自身で準備ください。
- ・自転車における基本的な整備方法（チェーン、サドル、ブレーキ、ギア等）は記載していません。自転車整備を行われたことのない方は、サイクルショップにご相談ください。

目次

1. 安全上のご注意	P1
2. 各部の名称	P7
本体各部の名称	
液晶モニター各部の名称と操作方法	
バッテリー各部の名称と操作方法および注意事項	
3. 使用方法	P9
本体電源オン・オフ	
本体折りたたみ方法	
本体展開方法	
組立方法のご案内（動画）	
バッテリー充電方法	
ライトの点灯・消灯方法	
4. 製品仕様	P13
本体・AC アダプター	
同梱物	
5. 車両整備・トラブルシューティング	P14
乗車前の点検・メンテナンス	
日常の点検・メンテナンス	
トラブルシューティング	
6. 運搬／保管／廃棄について	P15
7. 保証とアフターサービス	P15
お問合せ先	

1. 安全上のご注意

ご使用の前に必ず、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他者への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて、誤った取り扱いをすると生じることが想定されている内容を「危険」「警告」「注意」の3種類に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示について

本誌では、本文中に下記のような絵表示や図記号を使用しています。

	危 険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れが大きい内容を示しています。
	警 告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
	注 意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害の発生する恐れがある内容を示しています。
禁止図記号		禁止の行為であることを知らせるものです。図の中や付近に具体的な注意内容が記載されています。
指示図記号		行為を強制したり指示する内容を知らせるものです。図の中や付近に具体的な強制や指示の内容が記載されています。

バッテリーについて

危 険

 接続口を金属などで接触させない。発熱、発火、破裂の原因となります。ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。

 火への投入、加熱をしない。発熱、発火、破裂の原因となります。

 火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しない。発熱、発火、破裂の原因となります。

 落下させない。発熱、発火、破裂の原因となります。

 本体への取付と専用のACアダプターでの接続以外は使用しない。発熱、発火、破裂の原因となります。当社電動アシスト自転車専用の充電式バッテリーです。

 専用のACアダプター以外は使用しない。発熱、発火、破裂の原因となります。

 クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。発熱、発火、破裂の原因となります。



再生・リサイクルバッテリーは使用しない。発熱、発火、破裂の原因となります。

AC アダプターについて



当社電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の使用は絶対にしない。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂による怪我の原因となります。



警 告

バッテリーについて



水を入れたり、水中に投下したりしない。接続口や充電口から水が入ると発熱、発火、破裂の原因となります。バッテリー内部に明らかに水が浸入した場合は、使用を停止し、販売店で点検を受けてください。



傷ついたまま使用しない。ケースなど、破損したまま使用すると液漏れすることがあり、目に入った場合失明する恐れがあり大変危険です。また、水の浸入により、発煙・発火の恐れがあります。



大雨などで自転車本体やバッテリーが水につかった場合、使用を中止する。不意にアシストが停止する場合があります、バランスを崩し、転倒に繋がる恐れがあります。本自転車は生活防水性能を備えていますが、大雨などによりバッテリー内部に水が入った場合は使用を中止し、販売店で点検を受けてください。



バッテリーが確実に自転車に装着されているか確認する。走行中に脱落し転倒したり、足の上に落下したりと、怪我の原因となります。使用前に必ず外れないか確認してください。

AC アダプターについて



電源コードをACアダプター本体に巻きつけて保管しない。電源コードやプラグが断線し、傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因となります。



充電中はカバーをしたり、上に物を置いたりしない。内部が発熱し、火災の恐れとなります。



充電中は引火の恐れがあるものを近づけない。スパークし、火災や爆発の原因となります。



分解、改造は絶対にしない。充電時、バッテリーの液漏れ、発熱による火災の恐れとなります。



充電端子を金属でショートさせたり、ボタン・コイン電池を接触させない。発熱、発火、感電の恐れがあります。



幼児やベットが触れる所に放置しない。幼児やベットがコードを傷め、感電・故障・火災の原因となります。



電源コードや電源プラグ・ケースを破損するようなことはしない。傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど。傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因となります。電源コード単体での修理・交換はできません。電源コードなどが傷んだ場合、販売店にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、家庭用の交流100 V 以外での使用はしない。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。



その他以下のようなことはしない。

1. 衝撃を与えること

2. 落下

3. 水ぬれ

4. 高湿度な場所（浴室・洗面所や水がかかる場所）での使用。

発熱、発火、感電の恐れとなります。水にぬれた場合には、内部基板に水が浸入していることがありますので、使用しないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。接触不良による感電や火災の原因となります。



充電端子や電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



充電中に異音・異臭・煙の発生などの異常を感じたら充電を中止する。火災や爆発の原因となります。ACアダプターの電源プラグを抜き、バッテリーを取り外してください。

自転車本体について



下記箇所にがたつきや緩みおよび、変形・ひび割れなどの異常があるときは乗らない。

1. フレーム
2. 前フォーク
3. クランク
4. スポーク
5. リム



改造や分解はしない。



回転部（車輪・チェーンなど）に手や足を近づけない。幼児や児童やベットを近づけないようにご注意ください。



サドルやハンドルの「はめ合わせ」長さを15センチ以下に設定しない。シートポストやポールの折れにより、転倒や衝突による怪我の恐れがあります。ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。



ハブステップなどの突出物を装着しない。



注油禁止場所（リムやブレーキブロックのゴム部など）に注油しない。ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒に繋がる恐れがあります。



リムに著しい摩耗のあるときは乗らない。リムが破損し、転倒に繋がる恐れがあります。



次の様なときは外観上異常が無くても販売店で点検を受ける。ブレーキの動作不良、フレーム・前フォークの折損、駆動ユニットの異常動作により転倒に繋がる恐れがあります。

1. 車輪が変形するような衝突や段差の乗り上げ
2. 落下をしたときペダルやクランクに強い衝撃が加わるような衝突や転倒をしたとき



定期点検の時期以外でも、段差の乗り越えや長距離走行後は常に点検をする。

ブレーキについて



前後ブレーキの作動を確認せずに走行を開始しない。



ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない。



タイヤやブレーキから異音がある場合は使用しない。



雨天時や下り坂ではスピードを出さない。



前ブレーキだけを強くかけない。



前後ブレーキのロックナットは確実に締め付ける。

チェーンについて



たるんだまま走行しない。チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり、衝突や転倒に繋がる恐れがあります。

サドルについて



乗る前には、必ずがたつきやずれが無い点検をする。

リアキャリアについて



チャイルドシートを取り付けない。



変造および改造はしない。



荷物を載せたまま自転車を押し歩くとき、ハンドルを大きく切ったり、傾けたりしない。



取り付ける荷物でリアリフレクターが隠れないようにする。



取り付ける荷物は確実に固定する。



荷物を積載するときは、安全を確保できる場所で、十分練習してから本走行する。

その他安全にご利用いただくために



乗車前の点検は必ず行う。



サドルの高さなど自転車を身体に合わせる。



安全な服装を着用する。スカートやマフラーなど車輪に巻き込まれやすい服装は避ける。



傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、ハンドルやフレームにつり下げたりして乗らない。



滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない。



手元スイッチの操作を走行中に行わず、必ず停止して行う。上り坂や発進時、誤操作などでアシストが切れたときに、バランスを崩したり、片手運転になり衝突や転倒に繋がる恐れがあります。電源の入切、液晶モードの変更、ライトの操作などが該当します。



停車中は、前後ブレーキをかけた状態にし、ペダルに足を乗せない。不用意なアシスト力が働き、転倒や接触事故に繋がる恐れがあります。



バッテリーのキーにはキーホルダーやスベアキーを付けたまま乗車しない。キーホルダーやスベアキーなどが後車輪に巻き込まれ、転倒に繋がる恐れがあります。



スピードをだしすぎない。衝突や転倒、接触事故に繋がる恐れがあります。



パンクしたままやタイヤの空気圧を確認せずに走行しない。ハンドルが取られ、衝突や転倒に繋がる恐れがあります。



発進時または低速走行時は、ペダルを強く踏み込まない。思わぬ急発進やアシストの働きにより転倒や衝突事故に繋がる恐れがあります。



発進時や、きつい上り坂走行時は重いギア変速を選ばない。



バッテリー残量が少ない状態（残量表示が点滅状態）のときには、上り坂で乗車しない。アシストが切れたときに、バランスを崩し、転倒に繋がる恐れがあります。



スタンドを下げた状態で、乗らない（発進しない）。スタンドが変形・破損して、走行中に引っ掛かり、バランスを崩して転倒に繋がる恐れがあります。スタンドを上げてから乗車してください。



けんけん乗り（けり乗り）しない。転倒や接触事故に繋がる恐れがあります。ペダルを強く踏めば、モーターがそれに応じて強いアシスト力を出すため、乗り込む際に自転車飛び出し、危険です。必ずサドルにまたがって、発進してください。



一度に2 段以上ギア変速しない。



ペダルを踏み込みながら変速しない。変速操作に対し、実際のギアの切り替えが遅れ、バランスを崩し、転倒に繋がる恐れがあります。



次の様な運転は絶対にしない。

- 1.ヘッドホンを使用しながらの運転
- 2.飲酒運転
- 3.傘差し運転
- 4.2 人乗り
- 5.携帯電話を操作、通話しながらの運転
- 6.信号無視
- 7.他の自転車との並走



自転車に慣れるまでは、車が通らない平坦な場所（公園や広場など）で十分練習する。



定期点検と整備は、必ず6か月に1回実施する。



ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、外観上異常が無くても2年に1回は交換する。



夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行する。



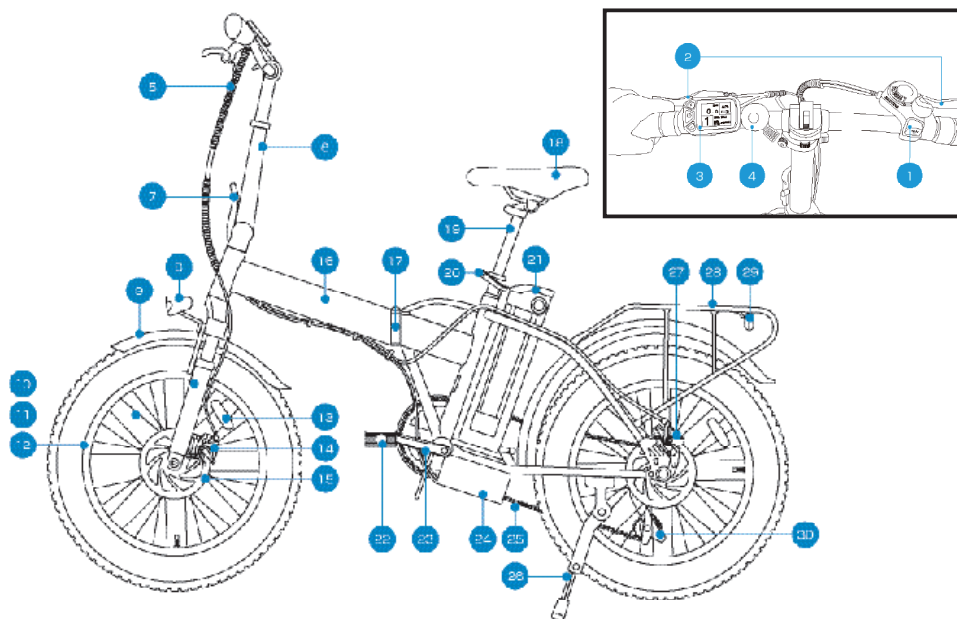
自転車は、車道を通行する。



交差点では一時停止と安全確認を行う。

2. 各部の名称

本体各部の名称



1. シフトレバー
2. ブレーキレバー
3. 液晶モニター
4. ベル
5. ワイヤー
6. ボール
7. ボールホルダー
8. フロントライト
9. どろよけ
10. 前フォーク
11. スポーク
12. リム
13. 反射板（前後輪搭載）
14. キャリパー
15. ディスク
16. フレーム

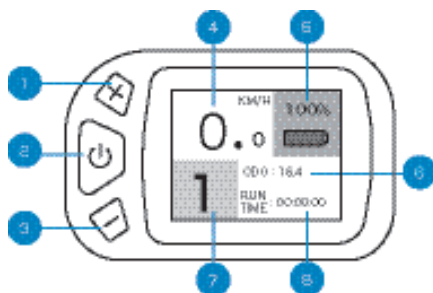
17. フレームホルダー

上部図、反対面にレバーがあります。

18. サドル
19. シートポスト
20. シートバンド
21. バッテリー
22. ペダル
23. クランク
24. コントローラーボックス
25. チェーン
26. スタンド
27. フライホイール
28. リアキャリア
29. リアリフレクター
30. リアディレイラー

※前後車輪共通のパーツについては、
前輪にのみ名称表記をしております。

液晶モニター各部の名称と操作方法



1. プラスボタン

2～3秒長押しし、ライトをオンにします。

2. 電源ボタン

3秒間長押しして電源オン・オフを切り替えます。また、短く1回押すと走行距離表示を切り替えます。

3. マイナスボタン

メンテナンス時を除いて使用する事はありません。

4. 速度メーター(km/h)

5. バッテリー容量表示

6. 走行状況表示

電源ボタンを短く押し、表示を切り替えます。

■ODD:総走行距離

■TRIP:区間走行距離

■Watt:消費電力 単位:ワット

■Range:使用できません。本機では常に0表記となります

7. アシスト表記

1の固定表示となります。

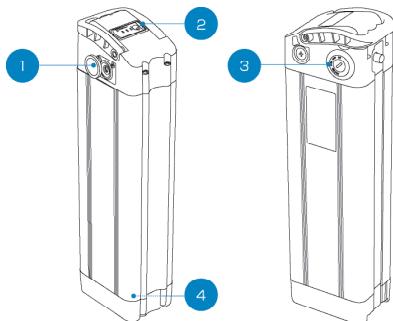
※万が一、「1」以外の表示、もしくは表示が無い場合は販売店にご相談ください。

8. 起動時間表示

電源オンからの時間が表示されます。

電源オフでリセットします。

バッテリー各部の名称と操作方法および注意事項



1. 充電口

専用のACアダプターを差し込んで充電を行います。

2. 充電残量メーター

ボタン長押しで充電残量表示されます。

3. キー差込口

※使用方法は次項に記載

4. 接続口(底面)

本体とバッテリーの接続口です。

キー差込口の表記について

キーを差し込んで回します。右表を参考に、用途に合わせてご利用ください。
UNLOCK から OFF に回す際に、キーを押し込む必要があります。

	通電	バッテリー 取外し	キー取外し
UNLOCK	×	○	×
OFF	×	×	○
ON	○	×	×

バッテリーの容量表示

バッテリー本体の PSE マーク部に表示している容量表示数値は電気用品安全法（PSE）で規定された試験での測定容量値を定格容量値として表示しています。

バッテリーの交換

お買い求めの販売店にご相談ください。

バッテリーを長期保管される場合の注意

- ・ 電動アシスト自転車からバッテリーを取り外し、残量表示ランプ 2 ～ 3 個点灯の状態で保管してください。
- ・ 周囲気温が涼しい場所（15℃～25℃）で保管してください。
- ・ バッテリーの劣化を抑えるため、半年に 1 回は AC アダプターに接続し、残量が 2 ～ 3 個点灯になるまで充電してください。
- ・ バッテリーの残量表示ボタンを押した場合、LED ランプが点灯しないときは、保護回路が働いています。バッテリーを AC アダプターにセットし、充電状態にすると解除されます。
- ・ 長期保管後再使用する場合、あらかじめバッテリー残量を確認し、不足しているときは、必ず充電してください。

3. 使用方法

本体電源オン・オフ

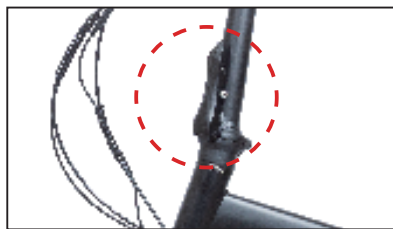
本体電源オン

1. バッテリーキーを「ON」に合わせてください。
2. 液晶モニターの電源ボタンを 2 ～ 3 秒長押しし、電源オンとなります。電源オン時は常に液晶モニターが点灯します。

本体電源オフ

1. 電源ボタンを 2 ～ 3 秒長押しし、液晶モニターが消灯したことを確認します。
2. バッテリーキーを「OFF」もしくは「UNLOCK」に合わせると、電源オフとなります。電源オフ時には、電源ボタンを長押ししても液晶モニターは消灯のままです。

本体折りたたみ方法



1. ボールホルダーを引き、ロックを外します。ボールホルダーはボタンを押して操作します。



2. ボールを折り曲げてハンドルを下に向けます。



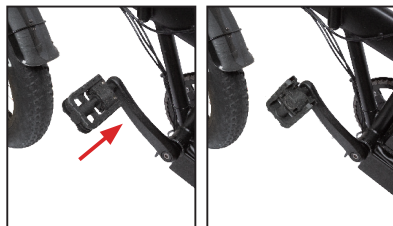
3. フレームホルダーを引き、ロックを外します。フレームホルダーは機構は二重ロックとなっているためご注意ください。

- ①フレームホルダーを左方向に開きます。
- ②開かれたフレームホルダーを少し上にあげながら右方向に戻します。
- ③フレーム部のロックが外れていることを確認します。

★動画でのご確認を推奨します。次ページに QR コード記載



4. フレーム部を折り曲げて前輪と後輪を近づけるイメージで折りたたみます。



5. ペダルを外側から押し込み、折り曲げて収納することができます。折り曲げを戻すことで、展開となります。

<折りたたみに関する注意事項>

- ・ 車体に折りたたみ状態を固定するロック機構はございません。バンドなどでの固定をおすすめします。
- ・ 指を挟んだり、足の上に落とすなどの事故に十分ご注意ください。

本体展開方法



1. フレーム部の折りたたみから解消します。前輪と後輪を遠ざける形で、フレームを展開します。



2. フレームホルダーでフレームをロックします。二重ロックとなっているためご注意ください。

- ①フレームホルダーを左方向に戻します。
- ②フレームホルダーを右方向に戻します。
- ③フレーム部がロックがされていることを確認します。

★動画でのご確認を推奨します。本ページ下部に QR コード記載



3. ポールを立ち上げます。



4. ポールホルダーでロックします。

展開後の点検箇所

1. ポールホルダーが固定され、ぐらついていない。
2. フレームホルダーが固定され、ぐらついていない。
※ロック時には、音が鳴る・手応えがあるという合図がございません。
本体フレームを折りたたむようにして検証し、固定されていればロックが完了しています。
3. ペダルが展開されている。
4. フロントライトの配線が外れていない。

組立方法のご案内（動画）

本体の組立や折りたたみと展開については動画で解説しております。
右記の QR コードからアクセスしていただき、ご覧ください。



バッテリー充電方法



1. 電源ボタンを押して電源をオフにします。液晶表示部が消灯することを確認。

※電源を切らないでバッテリーを外すと故障の原因になります。



2. サドルのロックバーを持ち上げながら、サドルを前側に倒します。



3. バッテリーロックを外し、バッテリーを取り外します。

① バッテリーロックにキーを差します。

② バッテリーを支えながら、キーを反時計方向に「UNLOCK」まで回します。

③ バッテリーを両手で支えながら、引き上げて外します。
キーは解錠状態のまま固定できます。



4. バッテリー充電口と AC アダプターを接続し、AC アダプターを家庭用コンセントに繋ぎます。AC アダプターのランプが赤点灯になっていることを確認します。

ランプ色と状態 → 緑点灯：充電完了 / 赤点灯：充電中

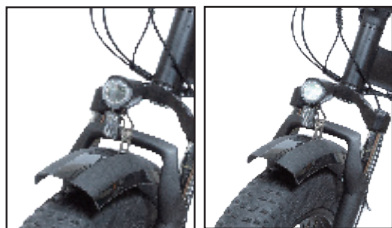
※明らかに充電不足の状態で、緑点灯の場合は AC アダプターがバッテリー不具合の可能性があります。販売店にご相談下さい。

<充電に関する注意事項>

- ・ 初めて乗る場合や、1 か月以上乗車していないときは、必ず充電してください。
- ・ AC アダプターは 5℃ ～ 35℃ の場所に設置してください。
- ・ バッテリーの温度が 0℃ 以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で 1 時間以上放置してから充電してください
- ・ 雨天走行後に充電するときは、水分をふき取ってから充電してください。
- ・ じゅうたんや不安定な床材などの上では使用しないでください。
- ・ 使用しなくても、半年に 1 回は充電してください。
- ・ 自転車本体もしくは AC アダプターの端子部にほこりがたまらないよう、ご注意ください。
- ・ バッテリー保護のために、満充電からの再充電はできません。
- ・ バッテリーの温度が低温・高温時ともに充電時間は長くなります。
- ・ 充電中に AC アダプターが熱くなりますが、異常ではありません。

ライトの点灯・消灯方法

1. 液晶モニターの+ボタンを2～3秒長押しします。



2. フロントライトが点灯することを確認します。消灯する場合、液晶モニターの+ボタンを2～3秒長押しします。

※ M6 はライトの見た目が異なりますが、操作は同じです。

<フロントライトに関する注意事項>

- ・ 電源が入っており、液晶モニターが点灯していることを確認してください。
- ・ 上記手順で点灯しない場合、配線の抜けが無いか確認してください。

4. 製品仕様

電動アシスト自転車本体		
型 番	M5/M6	
本体サイズ	全長 1700mm/ 全高 1240mm 全幅 585mm	
折りたたみ時サイズ	全長 950mm/ 全高 750mm 全幅 600mm	
本体重量	約 27kg	
タイヤサイズ	20×4 インチ	
ブレーキ	前後ディスクブレーキ	
耐 荷 重	約 200kg	
ギア変速	7 段変速	
モーター出力	48V 350W	
アシスト 航行距離	約 60km ※ご利用時の荷重量や、路面状態によります。 バッテリーはご利用回数に応じて消耗します。	
防水性能	IP65	
バッテリー	48V 10000mAh リチウムイオンバッテリー	
充電時間	約 5 時間	
品質保証	1 年間※保証内容はパーツ提供	

AC アダプター		
型 番	FCA140-420020	
定格入力	AC 100 ～ 240 V (50/60 Hz) 2.0 A	
定格出力	DC 42.0 V , 2.0A	
取得規格	PSE	

同梱物

本体、AC アダプター、マニュアル、簡易工具

5. 車両整備・トラブルシューティング

乗車前の点検・メンテナンス



前車輪を留めているネジに緩みが無いことを確認する。緩みがある場合は十分に締める。



前後車輪回転時に、擦れた音が無いことを確認する。擦れる音がある場合は、販売店・サイクルショップにてディスクブレーキの調整を行ってください。

日常の点検・メンテナンス

- ・ タイヤの推奨空気圧は 30psi です。推奨空気圧から大きく離れた空気圧での走行は故障の恐れがあり、製品の性能を十分に発揮できない恐れがあるため、推奨空気圧に調整してください。
- ・ ブレーキの遊びが 10 ～ 15mm 内にあるかどうかを確認し調整する。
- ・ ブレーキパッドが 2/3 以上摩耗していないことを確認する。摩耗が見られる場合は交換する。
- ・ タイヤに明らかな損傷、ひび割れが無く釘やガラスなどが刺さっていない状態、深刻な摩耗が無いことを目視確認する。どれかに当てはまる場合はタイヤを交換してください。
- ・ 走行距離が 100km を超えたらチェーンオイルをチェーンに散布する。
- ・ チェーンは 10000km 走行を目安に交換してください。
- ・ 雨の日の走行後は、車両フレーム、バッテリーと本体の接触部、液晶パネルを中心に乾いた布で水滴を拭き取り、十分に乾燥させてください。

現象	考えられる原因	対処方法
アシストが十分でない	バッテリー残量が不足している	バッテリーをフル充電してください
	20 キロ以上の速度で走行している	20 キロ以下の速度でアシストの感触があれば正常です。走行速度をご確認ください
本体の電源が入らない	バッテリーの充電が不足している	バッテリーの充電が十分であることを確認してください
	ケーブル外れ、もしくは接触不良が起こっている	ケーブル外れがないか確認してください。ケーブルを抜き差ししてみてください。改善が見られない場合は販売店にご相談下さい
充電最大量におけるアシスト航続距離が短い	タイヤの空気圧が不足している	タイヤに十分に空気を入れて走行してください
	積載量が多い	耐荷重以下まで積載量を減らして走行してください
	航路に上り坂が多い	平地を想定としたアシスト航続距離の為、上り坂では電力を多く消費します。平地での走行の消耗と比較検証をお願いします
	バッテリーが劣化している	約 500 回の充電でバッテリーの容量は約半分まで消耗します。上り坂の走行が多いほど消耗も早まります。充電回数や航路を考慮しバッテリーの交換を検討してください
バッテリー充電ができない	AC アダプターとバッテリーの接続が外れている	AC アダプターのプラグをしっかりと接続してください
	AC アダプター、もしくはバッテリーが故障している	明らかに充電が不足している状態で、AC アダプターのランプが赤点灯以外の場合、AC アダプター、もしくはバッテリーに不具合が起きている可能性があります。販売店にご相談下さい
	コンセント、電源タップが故障している	コンセント、電源タップの接続口を変更してください

6. 運搬 / 保管 / 廃棄について

リチウムイオンバッテリーは、一般ごみとして廃棄できません。廃棄する場合は自治体のルールに従い廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

7. 保証とアフターサービス

安心してお使いいただくために、ご購入から半年の品質保証を設けております。ご購入から経過した日数により保証対応が異なります。正常な使用状態で製造上の不備により故障した場合は、下記を基準とし保証対応を行います。修理の依頼には、機器本体および付属品のほか、本誌（保証書内ご記入ください）、購入日付のわかる購入証明（レシートや納品書など）が必要です。購入証明のない修理依頼はお受けできませんのでご了承ください。その他、保証規定や個人情報の取り扱いについては Web サイト <https://e-mobi.jp> をご確認ください。

保証書

お 名 前	フリガナ
ご 住 所	〒 -
電 話 番 号	
品 名	電動アシスト自転車 M5/M6
保 証 期 間	お買い上げより 6 か月間
販 売 店 名	
お買い上げ日	年 月 日
購 入 証 明 貼 り 付 け 欄	

本体、保証書送付先
930-0856 富山県富山市牛島新町4番5号 エーティーワークス本社ビル

お問合せ先

メールアドレス e_support@e-mobi.jp

株式会社イーモビ

930-0856 富山県富山市牛島新町4番5号エーティーワークス本社ビル
返答に3営業日（土日祝除く、当社営業日）前後頂戴いたします。

1週間待っても返答がない場合は再送信してください。

WEB フォームからのお問い合わせをご利用ください。

※右記のQRコードからアクセスできます。

